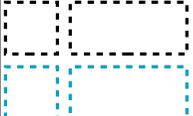
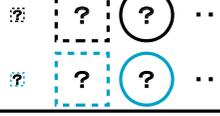
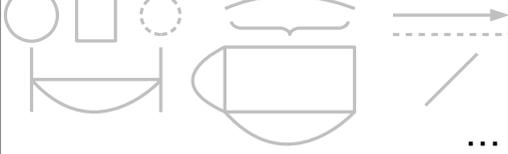


本書の使い方

■各種マークの意味

細い点線マーク		「符号」(+、-、×、÷、=、<、>)を書き込む
点線マーク		「数字」を書き込む 青色は問題文で聞かれている部分
実線マーク		「比」を書き込む 青色は問題文で聞かれている部分
?つきマーク		まだ書き込むことができない 「?」が消えたら書き込む 青色は問題文で聞かれている部分
灰色マーク		表の「タイトル」を書き込む
灰色線		線をなぞり、表、図、線分図、面積図などをかく

■演習編の使い方

○<ポイント>○

単元のポイントがまとめてあります。ポイントは軽く読むだけで大丈夫です。例題と入試問題を解きながら理解してください。問題を解いていて分からないときは、ポイントを調べてください。すぐに質問するのではなく、自分で調べることが重要です。

<Lv確認> 参) 本書の使い方

最新の算数偏差値から、解く問題のLvを確認します。スムーズに学習を進めるために、ここでしっかりとLvを確認し、当てはまらないLvの例題と入試問題は、必ず飛ばしてください。飛ばした問題は、Lvが上がった後に解いてください。

基本例題

例題は書き込み式になっています。問題文とヒントを参考に、書き込みをしてください。分からない部分は、ヒントに書かれているポイントを調べてください。答えが求まったら下線部分に書き、解き方の最後で答えが正しいことを確認してください。また、疑問を残さず解消するための<よくある質問>と、途中過程の手がかりとなる補足説明は、青字で書かれています。

答えが正しいことを確認したら、解き方の確認で最初から最後まで自力で解いてください。例題で学習した内容が定着するので、入試問題が解けるようになります。

基本入試問題演習

本物の入試問題です。入試問題演習は重要で、解くことで入試本番の得点力がアップします。

まずは入試問題を解きます。ただし、解く必要がない問題があるので、見極めて飛ばしてください。解き終わったら解答を確認し、途中過程と答えが正しいことを確認してください。解答と違うときは、解答の補足説明とポイントを調べ、解き直しをしてください。解き直しをした問題には印をつけておき、後日もう1回解くと効果的です。なお、解く必要がない問題は、解答が黒くぬりつぶされています。

集合算

情報の整理が重要
表に整理しよう

＜ポイント＞

<本単元の見分け方>
2～3種類のグループが登場するかどうか

■基本ルール

1. パターンを見分ける

- ・「2種類」パターン
- ・「3種類」パターン

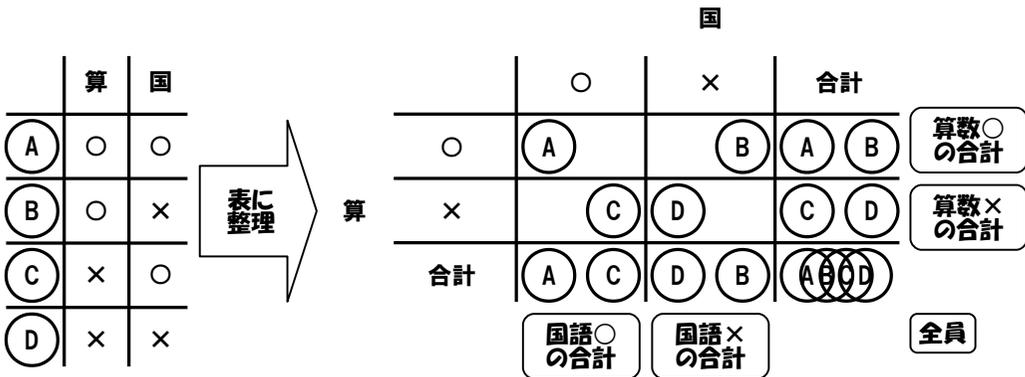
2. 表・キャロル表に整理

■「2種類」パターン

表に整理

グループB

		○	×	合計
グループA	○			
	×			
	合計			



基本例題

<Lv確認>
参) 本書の使い方

易

標準

難

例1

易

35人の学級で、兄と姉のいる、いないを調べました。兄がいる人は19人、どちらもいない人は7人でした。姉だけがいる人は何人ですか。(独自問題)

ヒント

- 基本ルール
 1. パターンを見分ける
 2. 表・キャロル表に整理
- 「2種類」パターン表に整理

解き方

		姉		
		○	×	合計
兄	○			<input type="text"/>
	×	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	合計			<input type="text"/>

- [1] 兄がいない人は何人かを求める
- [2] 姉だけがいる人は何人かを求める

		姉		
		○	×	合計
兄	○			19
	×	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>
	合計			35

<よくある質問>

生徒: ペン図を使ってはいけないの?
先生: 2つの集合が重なり合って混乱するので、使ってはいけません

		姉		
		○	×	合計
兄	○			19
	×	9	7	16
	合計			35

9人

問題

解き方の確認

35人の学級で、兄と姉のいる、いないを調べました。兄がいる人は19人、どちらもいない人は7人でした。姉だけがいる人は何人ですか。

		姉		
		○	×	合計
兄	○			<input type="text"/>
	×	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	合計			<input type="text"/>

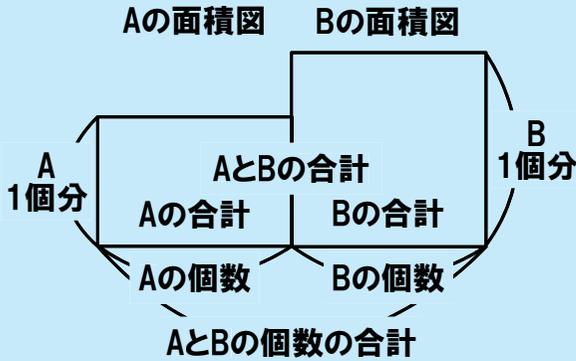
つるかめ算

一行問題頻出
つるかめ算の面積図をかこう

ポイント

<本単元の見分け方>
2種類の合計が分かっているかどうか

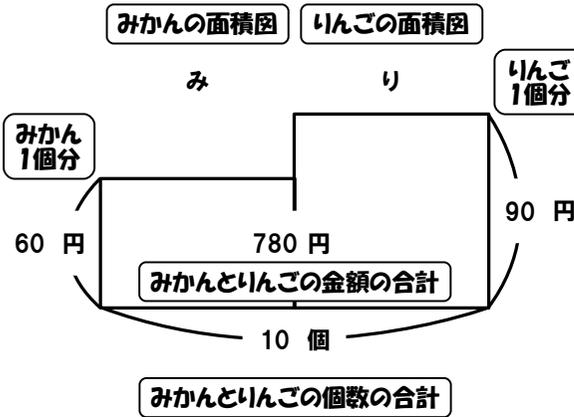
つるかめ算の面積図



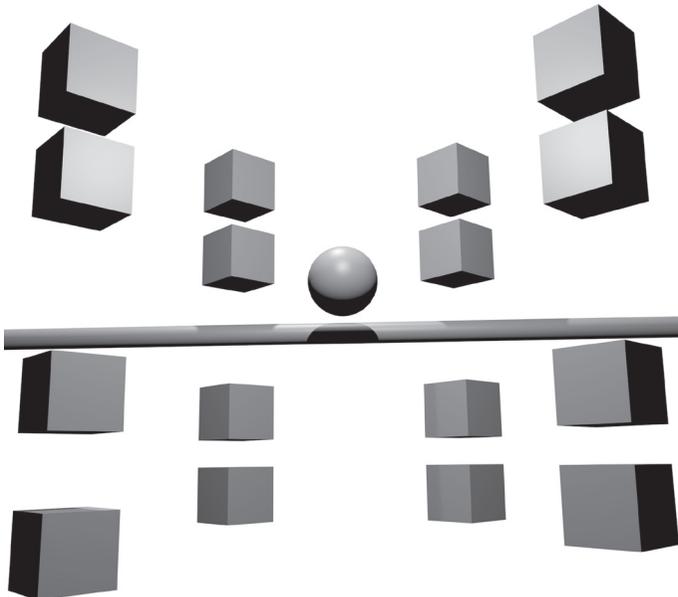
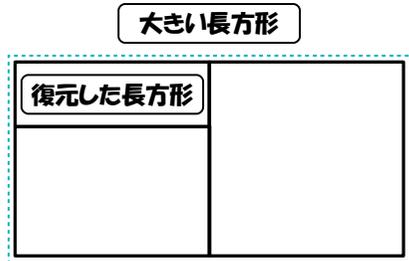
基本ルール

1. 面積図
2. 欠けている部分を復元
3. 大きい長方形の面積を求める
4. 復元した長方形の面積、縦をそれぞれ求める
5. 復元した長方形の横を求める

(1) 60円のみかんと90円のりんごを合わせて10個買い、その金額の合計は780円です。面積図に示さない。



(2) (1)の面積図で、大きい長方形、復元した長方形の場所をそれぞれ示さない。



<よくある質問>

生徒:なぜこの問題はつるかめ算なの?

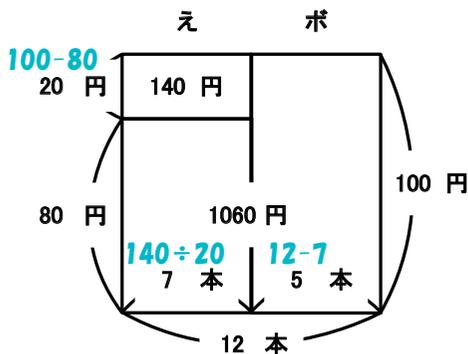
先生:2種類の合計が分かっているからです

生徒:2種類の合計とは?

先生:本数の合計12本と金額の合計1060円です

生徒:なぜつるかめ算は、計算式で解いてはいけないの?

先生:3種類のつるかめ算のような応用問題が解けないからです



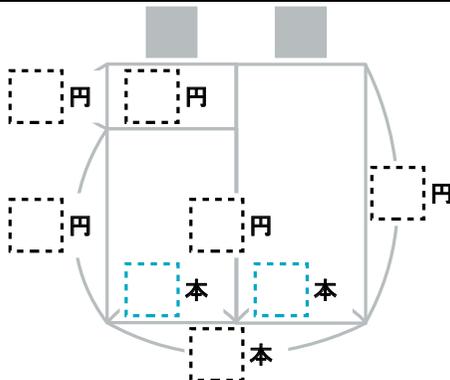
$$100 \times 12 - 1060 = 140 \text{ 円}$$

えんぴつ 7本、ボールペン 5本

問題

80円のえんぴつと100円のボールペンを合わせて12本買い、その合計の金額は1060円でした。えんぴつ、ボールペンをそれぞれ何本買いましたか。

解き方の確認



$$\square \times \square - \square = \square \text{ 円}$$